

## ご挨拶

8月2日、県議会議員初当選から10年を迎えまし た。この間、多くの皆様に支えていただいております ことに心から感謝を申し上げます。

10年間を振り返ると東日本大震災津波、平成30年 台風第 10 号災害、令和元年台風第 19 号災害、新型 コロナウイルス感染症と常に有事の中にありました。

そのような中で、課題の大小を問わず、成果として 残せたものも数多くあったものの、成果を得られな かったものや未だに解決できていない課題も多く、心 の中には常に悔しさ、もどかしさがありました。

一方、政治家はどのような方に対しても、どのよう な事柄であっても公正・公平でなければならず、課題 解決の有無に関わらず、常に真正面から向き合い、真 心と勇気をもって真実を語るべきであるという信念は 買いてきたつもりであります。

10年といってもまだまだ勉強すべきことがたくさ

んあります。初心を忘れることなく、また、この間培っ てきたことを活かしながら、本県、そして故郷の発展 のために精進してまいります。今後とも皆様のご指導・ ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願いいたします。

さて、今年は東日本大震災津波の発災から 10 度目 のお盆を迎えると同時に、戦後 75 年の節目でもあり ました。また、新型コロナウイルス感染症の影響によ る各種イベントの中止や縮小、お盆中の帰省の自粛な ど、特別な夏であったと感じております。

そのような中にあって、災害、戦争、感染症に対し、ど のように対応すべきか。また、どのように備え、対策を講 じていくべきか。改めて深く考える機会でもありました。

「過去に学び、現在を乗り越え、未来に活かす」。新 型コロナウイルス感染症への対応、災害復旧の着実な 推進はもとより、未来をしっかりと見据えたまちづく り、ひとづくり、しごとづくりに取り組んでまいります。

令和2年9月1日

岩手県議会議員 岩 崎 友 -

# 岩崎友一事務所

釜石事務所 大槌事務所

〒026-0025 岩手県釜石市大渡町2-6-23 TRYビル2階 TEL: 0193-55-6830 FAX: 0193-55-6831

〒028-1131 岩手県上閉伊郡大槌町大槌 23-7-5 (大槌タクシー内) TEL: 0193-42-2257 FAX: 0193-42-2258

# 新型コロナウイルス感染症への対応

自民党岩手県支部連合会新型コロナウイルス感染症対策本部・県議会自由民主党合同の 活動についてご報告いたします。

## 1 県内の各業界団体からの 第2次ヒアリングを実施



5月18日から22日にかけて、3月末に続き 県内の業界団体への第2次集中ヒアリングを実施 しました。前回同様に医療・商工・農林水産・建 設・福祉・運輸などの業界団体から要望の聴取を 行うとともに、各業界の置かれている現状などに ついて意見交換をいたしました。

私は医療・商工関係を中心にヒアリングを行いましたが、それぞれの分野において、3月、4月と比較しても、更に状況は深刻さを増し、既存の支援制度の運用の在り方や国・県・市町村それぞれの新たな支援策の必要性について共有させていただきました。

# 2 県内 33 市町村からの ヒアリングを実施



6月1日から3日にかけて、県内全33市町村を訪問し、新型コロナウイルス感染症に関する要望ヒアリングを実施いたしました。

各市町村からは地方創生臨時交付金の増額と柔軟に活用できる制度とすることをはじめ、感染症対策としては、発熱外来の県内9医療圏での設置・運営に際し、郡市医師会や市町村に依存するだけでなく、県が主体的に支援をすることやPCR検査体制の充実、アルコール消毒液や防護服などの感染予防資材の早期確保などについて要望をいただきました。

また、経済対策として、持続化給付金の拡充、 1次産業への支援の充実、東日本大震災津波の被 災地においては2重・3重ローン対策など切実な 現状を聞かせていただきました。

教育分野では、多くの市町村から GIGA スクールの推進とそれにかかる機器等の補助率の増額などの要望も頂戴したところです。

# 3 新型コロナウイルス感染症 対策本部会議を開催

6月4日、第6回新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催しました。議事は各業界団体及び各市町村のヒアリング事項の報告とそれを受けての要望書の取りまとめでありました。

感染症対策と経済対策のバランスを取りながら 施策を推進しなければならない中にあって、私共 としては各業界団体、各市町村によって軸足の置 き方やバランスの考え方が様々あるように感じま した。また、イベントの開催などに向けて戸惑い の声も多かったことから、県主導で指針を示す必 要性も感じたところです。

また、コロナ禍にあっても、県と市町村の連携 不足を強く感じたところであり、県の役割として、 しっかりと音頭をとるべきだとの認識で一致した ところです。

# 4 県知事への第3次要望を実施



6月11日、6月4日に取りまとめを行った内容について、県知事に対し第3次要望を行いました。医療供給体制の強化、地域経済対策、新たな生活様式による県民への影響対策、教育機会の確保と相談体制、東日本大震災津波被災事業所への支援、地方自治体の負担に対する適切な財源措置の大きく6項目、97件の要望です。

具体的な内容については以下、ご覧ください。

# http://www.jimin-iwate.gr.jp/img/data/200611\_covid19.pdf

6月11日開催の県議会臨時会では、新型コロナウイルス感染症対策を中心とした県の第3次補正予算も成立させましたが、不足している点や更なる支援の充実について県知事に要望をいたしました。県においては次なる補正予算にて早急に対応されるよう、今後とも強く求めてまいります。

## 5 政府・自民党本部への 第3次要望を実施



7月7日、政府・自民党本部への第3次要望を 実施いたしました。政府では西村康稔経済再生担 当大臣、高市早苗総務大臣、田中和徳復興大臣、 橋本岳厚生労働副大臣、宮本周司経済産業大臣政 務官へ。また、自民党本部では鈴木俊一総務大臣、 岸田文雄政調会長へ新型コロナウイルス感染症対 策について、大きく6項目、28事項について要 望をいたしました。

具体的な内容については以下、ご覧ください。

# http://www.jimin-iwate.gr.jp/img/data/200707\_covid19.pdf

本県では感染者がゼロでありながら、経済への影響は他都道府県と同様或いはそれ以上に深刻であるという現状をしっかりと伝え、交付金などの支援が他都道府県より少なくなることのないよう、改めて強く要望をするとともに、本県は東日本大震災津波、平成28年台風第10号災害、令和元年台風第19号災害の被災地であり、事業者の中には2重ローンどころか3重ローン、4重ローンを抱える事態になりかねないことから特段の配慮などをお願いしたところです。

また、全国の都道府県・市町村に配分されている地方創生臨時交付金について、その使途については国の支援制度の隙間を埋めるべく、各地域の医療体制や産業など、実態にそった実効性のある施策が展開されるよう、政府として制度の交通整理を行って欲しい旨、要望をさせていただきました。

### 新型コロナウイルス感染症に関する これまでの主な活動

- 3月 1日 県連新型コロナウイルス感染症対策本部 立上げ
- 3月10日 県知事への第1次要望
- 3月26日~30日
  - 各業界団体からの第 1 次要望ヒアリング
- 4月 3日 政府・自民党への第1次要望
- 4月 9日~13日
  - 県内の郡市医師会からのヒアリング調査
- 4月16日 県知事への第2次要望
- 5月18日 政府・自民党への第2次要望
- 5月18日~22日
  - 各業界団体からの第 2 次要望ヒアリング
- ●6月 1日~3日
  - 県内全33市町村からの要望ヒアリング
- 6月11日 県知事への第3次要望
- 7月 7日 政府・自民党への第3次要望

本県においても感染者が確認されるなど、要望当時と状況は変化しておりますが、 感染対策と経済活動の両立を図るため、皆 様には引き続きマスクの着用(熱中症に気 をつけながら)、手洗いの徹底、3密の回 避などのご協力をお願いいたします。

# 活動報告

# ① 釜石・大槌管内の砂防ダム 建設予定地を視察



県では昨年の台風第 19 号災害を受けて、災害復旧・復興事業として砂防・治山ダムの整備を進めます。

6月中旬、釜石・大槌管内(釜石市尾崎白浜 地区・佐須地区・桑ノ浜地区、大槌町吉里吉里 地区など)の砂防ダム建設予定地の視察を行い ました。

台風第19号災害では半島部を中心に大量の 土石流が多くの住家に流れ込むなど、甚大な被 害を受けました。砂防ダムには土石流を食い止 め、住家や道路を守る役割があり、治山ダムに は山地災害から住民を守るとともに水源涵養、 生活環境の保全を図る役割があります。

上記写真は平成7年に佐須地区に整備された治山ダムでありますが、台風第19号災害時においても効果があったところです。

今回、釜石・大槌管内で砂防・治山ダムは 20 基ほど整備される予定であり、これだけ大 量の整備は管内でも初めてとなります。

整備にあたり用地交渉を伴うことから、一定 の時間を要しますが、住民の皆さんの安心・安 全を確保するため、少しでも早く整備が完了す るよう努めてまいります。

② 大槌川大ケロ地区の河川堤防は9月完成へ



先日、昨年の台風第 19 号災害で被災した大槌川大ケ□地区の河川堤防の復旧現場を視察しました。

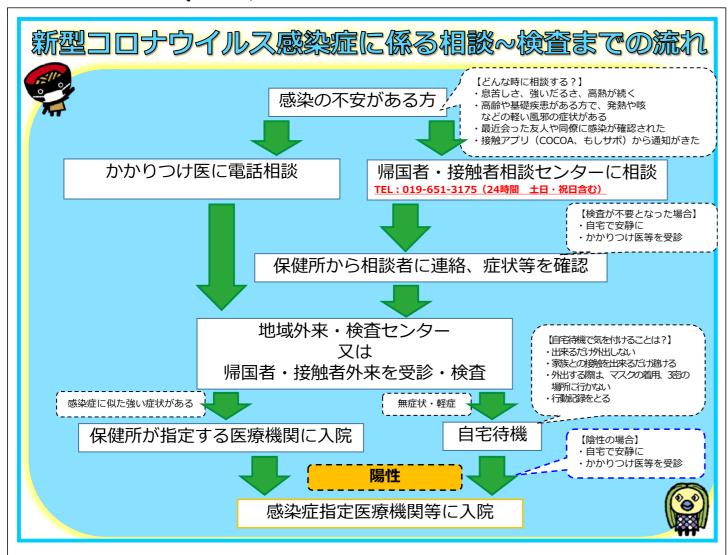
当該箇所はもう少しで河川堤防が決壊し、住家に甚大な被害が出る寸前だったこともあり、コンクリート護岸の補強や洗堀防止対策として護岸の下部にブロックを設置するなど改良復旧を進めてまいりました。護岸工事及び築堤工事は概ね終了しており、植生などを行い今月中の完成を目指しております。

尚、地元自治会などからご要望をいただいて おりました周辺地区の河道掘削については、8 月から事業を実施しております。

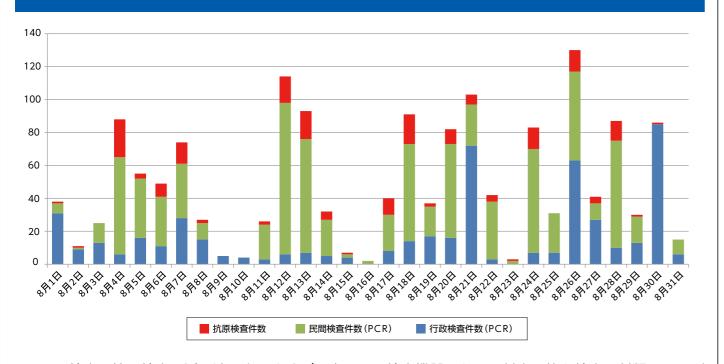
復旧工事の完成により地域住民の安心・安全が守られる一方、近年の豪雨は我々の想定をはるかに超えることが多いことから、どれだけハード面の整備を行っても絶対に安全ということはございません。引き続き、明るい時間帯の早期避難の徹底など、地域住民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## ③ 笛吹峠の道路擁壁崩落現場を 視察





# 本県における8月の遺伝子 (PCRなど) 検査数の推移



※ PCR検査、抗原検査の活用法でありますが、本県では検査機関における対応可能な検査の種類やそれぞれの検査の特徴に応じて、医師の判断やクラスター対応等の状況などにより、使い分けることとしております。

# 活動報告

6月中旬、通行止めとなっている主要地方道 釜石遠野線・笛吹峠の道路擁壁の崩落現場の視 察を行いました。

当現場は笛吹峠の頂上から遠野市側に数百メートル下った場所で、道路擁壁の基礎部分が損傷し、危険な状況であることから4月8日から通行止めとなっております。

笛吹峠は平成30年の台風10号災害からの復旧工事が終了したばかりであり、更なる通行止めにより日々、利用されている方々には大変ご不便をおかけいたします。

現在、測量等を終え、復旧に向けた詳細設計を行っている段階であり、今月9月上旬の設計完了、9月下旬の工事着工に向けて作業が進められております。

現場は道路下部から 50 メートル下の谷底にかけて大規模な崩落が発生していることから、かなりの難工事が予想され、今年度中の完成は厳しい見込みですが、県振興局と連携し、地元住民の皆様と情報共有を図りながら、早期復旧に向けて取り組んでまいります。

### 4 根浜海岸の砂浜再生が完了



東日本大震災津波により流出した根浜海岸の 砂浜の再生が完了しました。

平成30年3月、根浜海岸復興養浜技術検討委員会(学識経験者など)にて「養浜砂の定着が可能」との見解が示され、同12月に工事に着手し、総事業約10億円を投入し、先月、総延長450mの砂浜の再生が終了いたしました。

昨年は再生途上ではありましたが、海遊びイベントやはまゆりトライアスロン国際大会、釜石オープンウォータースイム大会、水上バイク体験試乗会、釜石ビーチ雪合戦など、様々なイベントが開催され、多くの人々で賑わいました。

砂浜再生が全て完了する今年こそ、海開きを 楽しみに待っていた方々も多かったと思います が、新型コロナウイルス感染症の影響により、 今年の海開きは叶いませんでした。

根浜海岸周辺には、キャンプ場や天然芝の広場なども整備されました。来年の夏こそは根浜地域一帯が多くの地元住民や観光客などで賑わうことを期待したいと思います。

尚、同じく砂浜再生を進めている浪板海岸は 漁期等との調整を図りながら、今年度中の整備 完了を目指しております。こちらも来年の夏、 震災後初の海開きができるよう、周辺環境の整 備も含めて、引き続き活動してまいります。

### り 大槌・箱崎・釜石・小白浜漁港 を視察



8月20日、21日、岩手県漁港漁村協会による釜石管内の漁港検診が行われ、大槌・箱崎・ 釜石・小白浜の4つの漁港を視察しました。

釜石・大槌管内では、当初の計画より遅れた 箇所もありますが、東日本大震災津波発災から 10年を迎える来年3月までに被災したすべて の防波堤と新たに整備している防潮堤の工事が 終了する見込みです。

また、来年4月以降も国の補助事業を活用した防波堤や岸壁の強化事業が計画されており、

# 活動報告

ハード面の整備は着実に進められていきます。

一方、地球温暖化などに起因すると思われる 漁場環境の変化による不漁や貝毒規制の長期 化、漁村の高齢化など、多くの課題を抱えてい ることから、漁港のみではなく、漁場、漁村と いった視点にも新たな政策を投入しながら、漁 業の振興を図っていかなければなりません。

近年、非常に厳しい現状が続いておりますが、 沿岸部の基幹産業である漁業・水産業の成長産 業化を進めるべく、取り組みを強化していきた いと思います。

### ⑥ クマ被害に注意を!

#### 釜石管内のツキノワグマの出没状況

[単位:件]	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2 年度
4月	5	28	6	16	24
5月	17	37	31	20	39
6月	36	68	39	39	103
7月	9	23	42	57	87
8月	1	10	4	20	
9月	3	3	5	12	
10月	8	2	4	5	
11月	7	1	3	1	
12月	1	0	2	2	
1月	0	0	0	1	
2月	0	0	1	1	
3月	1	0	3	3	
計	88	172	140	177	253

今年はツキノワグマの出没が例年に増して多く、人身被害が出るなど深刻な状況であります。 県内全体では例年と同程度でありますが、釜石 管内においては今春から例年を大きく上回る目 撃情報が報告されております。

県では、各市町村毎の捕獲上限数の見直しや 注意喚起などの取り組みを行っておりますが、 深刻な事態を踏まえ、行政や地元猟友会の皆様 と連携しながら、更なる対策の充実に努めてま いります。

以下、参考までにクマに遭遇した際の対処方 法などご確認ください。 https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/shizen/yasei/yaseidoubutsu/1005471.html

### 7 トラウトサーモン・銀サケの 養殖施設を視察



6月上旬、大槌町で試験養殖を行っているトラウトサーモンと銀サケの養殖施設を視察しました。

秋サケの回帰率低迷などの影響を受け、漁協経営の安定化や地元水産加工場や飲食店での取り扱いを通じ、地域経済の循環を図るため新たなプロジェクトとして行っている養殖ですが、2魚種とも初年度の今年は順調に出荷を終えました。

県内では久慈市、宮古市においても海面養殖 試験を行っておりますが、低迷する漁業・水産 業の起爆剤となるよう、私もしっかりと後押し をしてまいりたいと思います。

### 本県におけるサケ、マス類の海面養殖試験の 今年度の実績

		令和2年生産実績		
対象地区	実施主体	ギンザケ	トラウト	
久 慈 (久慈湾)	久慈市漁協	40トン	_	
宮古湾)	宮古市 (宮古漁協に 委託)	_	52トン	
大 槌 (船越湾吉里吉里 地先海面)	新おおつち 漁協	38トン	47トン	

出所:岩手県調<sup>。</sup>

※大槌地区の実績は速報値であるもの。

## 岩崎友一のプロフィール

#### 禬 万

(いわさき・ともかず 41才)

誕生日 昭和53年9月18日

身 長 165cm 体 重 60kg 血液型 B型



#### 自己紹介

味 野球、ゴルフ、DVD、音楽鑑賞、温泉旅行 座右の銘「温故知新」

好きな食べもの 納豆、麻婆豆腐(辛口)、秋刀魚の塩焼き

所 何事にも前向きなところ 長 短 所 たまに突っ走りすぎること

#### 歴

平成 3 年 大槌町立安渡小学校 卒業

平成 6 年 大槌町立大槌中学校 卒業 平成 9 年 盛岡中央高等学校 卒業

平成 15 年 城西大学 経済学部 経営学科 卒業

平成 16 年 鈴木栄子司法書士事務所 勤務

平成 18 年 (㈱ガルバート・ジャパン 勤務

平成 22 年 ㈱大槌タクシー 専務取締役就任

平成 22 年 岩手県議会議員補欠選挙で初当選

平成23年 岩手県議会議員選挙で2期目当選

平成27年 岩手県議会議員選挙で3期目当選

令和 元 年 岩手県議会議員選挙で 4 期目当選 (現在に至る)

#### 自由民主党岩手県支部連合会の役職

#### 平成 30 年 1月~

幹事長

平成 25 年 12 月~平成 30 年 1 月 政務調査会長

平成 22 年 10 月~平成 30 年 5 月

#### 県議会の役職等

令和2年3月~ 議員定数等検討会議 副座長 令和元年9月~

総務委員会 委員

東日本大震災津波復興特別委員会 委員 人口減少対策調査特別委員会 委員

平成 30 年 1 月~

自由民主党 会派代表

平成 29年 10月~令和元年9月

環境福祉委員会 委員

東日本大震災津波復興特別委員会 副委員長

防災・減災対策調査特別委員会 委員

議会運営委員会 委員

平成 27 年 11 月~平成 29 年 10 月

ふるさと創生・人口減少調査特別委員会 委員

平成 27 年 9 月 ~ 平成 29 年 10 月

総務委員会 委員

東日本大震災津波復興特別委員会 委員

議会運営委員会 副委員長

平成 26 年 10 月

決算特別委員会 委員長

平成 25 年 10 月~平成 27 年 9 月

総務委員会 委員長

議会改革推進会議 副座長

平成 25 年 10 月~平成 27 年 7 月

スポーツ振興等調査特別委員会 委員

平成 24年 10月

決算特別委員会 副委員長

平成 23 年 11 月~平成 25 年 10 月

地域資源活用による観光振興等調査特別委員会 委員長

平成23年9月~平成27年7月

東日本大震災津波復興特別委員会 委員

平成 23 年 9 月 ~ 平成 25 年 10 月

農林水産委員会 副委員長

平成23年9月~平成24年7月 議会運営委員会 委員

平成23年4月~平成23年9月

災害対策特別委員会 委員

平成22年8月~平成23年9月

県土整備委員会 委員

平成22年8月~平成23年3月

平泉世界文化遺産推進調査特別委員会 委員

地域医療等対策調査特別委員会 委員

初当選 平成22年8月2日

FACE BOOK

岩崎友一 公式ホームページ http://iwasakitomokazu.com プログ更新中

## 自分をまもり、大切な人をまもり、地域と社会をまもるために、 確認アプリをインストールしましょう。

接触確認アプリは、新型コロナウイルス感染症の感染者と 接触した可能性について、通知を受け取ることができる、 スマートフォンのアプリです

詳しくはこちら

厚生労働省 ウェブサイト

